

単 元	年 組 番
3年 Unit 1 Sign Language	氏名

めあて 受け身を使って、「～される, されている」を表そう。

- The group is loved by many people. そのグループは多くの人々に愛されています。
- ・「～される, されている」という言い方を「受け身」といい「be 動詞+過去分詞」で表します。
 - ・動作をする人がはっきりしているときは, by～(～によって)を文末につけます。
 - ・規則動詞の過去分詞は過去形と同様に(e)d をつけ, 不規則動詞は形が違うものがあるので注意しましょう。

めあて 受け身の疑問文を使って表そう。

- Sign language was used in the musical. 手話がそのミュージカルで使われました。
 Was sign language used in the musical? 手話がそのミュージカルで使われましたか。
 Yes, it was. / No, it was not. はい。 / いいえ。
- ・「～された」という受け身の過去の文では, be 動詞を過去形にします。
 be 動詞は, 主語が単数形の場合は was, 複数形の場合は were を使います。
 - ・受け身の疑問文では, be 動詞を主語の前に出します。
 - ・受け身の否定文では, be 動詞の後に not をつけます。

めあて make を使って、「…を～にする」を表そう。

- Her song makes me happy. 彼女の歌は私を幸せにします。
- ・make には「…を～にする」という意味もあります。「make+(代)名詞+形容詞」の形で「…を～にする」という意味を表します。
 - ・主語には物やことがらだけでなく「人」がくることもあります。
- (例) You must make your room clean. 「あなたは部屋をきれいにしなければいけません。」

「～される」「～されている」という受け身(受動態)の文の形を覚えましょう。また, make を使った新しい形の文に慣れましょう。

be 動詞+過去分詞を組み合わせる受け身の文を作りましょう。受け身の意味が現在「～される」のときは, be 動詞は現在形(am, is, are)を使い, 過去「～された」というときは過去の be 動詞 (was, were) を使います。



単 元	年 組 番	8問
3年 Unit 1 Sign Language	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) そのグループは多くの人々に愛されています。

The group by many people.

- (2) 京都は多くの人々によって訪問されています。

Kyoto by many people.

2 英語で書いてみよう。

- (1) 手話はそのミュージカルで使われていました。

The sign language in the musical.

- (2) 手話はそのミュージカルで使われましたか。 はい、使われていました。

the sign language in the musical?

Yes, it .

- (3) これらの本は彼女によって書かれたのですか。 いいえ、違います。

these books by her?

No, they .

3 英語で書いてみよう。

- (1) 彼女の歌がわたしを幸せにします。

Her song me happy.

- (2) その本が私を悲しくさせました。

The book me sad.

単 元	年 組 番	8問
3年 Unit 1 Sign Language	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

(1) このお寺は300年前に建てられました。

(was / ago / this / built / 300 years / temple / .)

(2) このケーキはエミによって作られましたか。 (this / Emi / made / was / by / cake / ?)

(3) この物語はいつ書かれましたか。 (written / story / when / was / ?)

(4) その手紙が私を驚かせました。 (surprised / letter / made / me / the / .)

2 こんなとき英語ではどういいますか。

(1) 英語は世界中で話されていると言うとき。

(2) これらの本の作者が彼女とたずねるとき。

(3) 彼女の歌を聞いていると眠たくなったとき。

3 好きな本についてまたは歌について、AさんとBさんの対話を2文以上の文で書いてみよう。

(例) あなたの好きな本は何？それは～によって書かれた。それは私を幸せに(悲しく)させた。

あなたは？

単 元	年 組 番
3年 Unit 2 A Fireworks Festival	氏名

めあて have+過去分詞を使って、過去から現在まで続くことを表そう。

I live in Japan. 私は日本に住んでいます

I **have lived** in Japan **for three years**. 私は日本に**3年間**住んでいます。

- ・過去から現在まで続いていることを表すには「have(has)+過去分詞の形」を使い、これを「現在完了形」と言います。
- ・あとに for+(期間) や since+(始まりのとき) をよく使います。

めあて How long~? を使って、期間をたずねよう。

Have you lived here for two years? あなたはここに2年間住んでいますか。

How long have you lived here? — For two years.

あなたはどのくらいここに住んでいますか。2年間です。

- ・現在完了形の疑問文では、have(has) が主語の前に出ます。
- ・How long を最初に置いて、「どのくらい~していますか」と期間を尋ねます。

めあて be 動詞の過去分詞 been を使って、過去から続いていることを表そう。

These girls are here now. こちらの少女たちは今ここにいます。

These girls **have been** here since three o'clock. こちらの少女たちは3時からここにいます。

- ・be 動詞の過去分詞は been です。
- ・be 動詞の後ろには名詞 (例 a student) や形容詞 (例 sad, cloudy) などを置くことができます。

過去のことを表すときは、動詞を過去形 (-ed) にしましたね。現在完了形は、過去から現在に関わることを表していて、動詞の過去分詞形を使います。

現在完了形の文によく出てくる for は、three years や、one week など時間の長さを表す言葉と一緒に使います。それに対し、since は「~から」という意味なので、年号や yesterday など過去の時点を表す言葉と一緒に使います。



単 元	年 組 番	6問
3年 Unit 2 A Fireworks Festival	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) 私は日本に3年間住んでいます。

I in Japan for three years.

- (2) 彼女は2010年から英語を勉強しています。

She English since 2010.

2 英語で書いてみよう。

- (1) あなたはどのくらい日本に住んでいますか。 2年間です。

have you lived in Japan? two years.

- (2) あなたはどのくらい英語を勉強していますか。 2010年からです。

have you studied English?
 2010.

3 英語で書いてみよう。

- (1) こちらの女の子たちは3時からここにいます。

These girls here since three o'clock.

- (2) 先週からずっと晴れています。

It sunny last week.

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8 問
3 年 Unit 2 A Fireworks Festival	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

- (1) 彼は2年間柔道を練習しています。(judo / has / he / for / years / two / practiced / .)

- (2) あなたはどのくらいここにいますか。(long / been / have / how / here / you / ?)

- (3) あなたが去ってから私はずっと悲しいのです。(have / left / I / sad / you / been / since / .)

- (4) 私は会社員として10年間働いています。

(I / for / as / an office worker / worked / have / ten years / .)

2 こんなとき英語ではどう言うか書いてみよう。

- (1) ピアノの練習を10年続けていると言いたいとき。

- (2) 相手にどのくらい福岡に住んでいるのか尋ねたいとき。

- (3) 先週から体調が悪いと言いたいとき。

3 続けていることについて、AさんとBさんの対話を2文以上の文で書いてみよう。

(例) サッカーできる? どのくらい練習を続けているの?

単 元	年 組 番
3年 Unit 3 Fair Trade Chocolate	氏名

めあて Have you ever を使って、経験があるかどうかたずねよう。

Have you ever heard of fair trade?

あなたはフェアトレードについて聞いたことがありますか。

Yes, I have. はい、あります。 / No, I haven't. いいえありません。

I have never heard of it. 一度も聞いたことはありません。

- ・「～したことがあるか」という疑問文には **ever** を使います。
- ・「一度も～したことがない」という否定文には **never** を使います。

めあて just や yet を使って、動作の完了を表そう

I have just checked the boxes. 私は（今）この箱を調べたところです。

Have you checked the boxes yet? あなたはもうその箱を調べましたか。

- ・ **have** と過去分詞の間に **just** を入れると「(今) ~し (終わっ) たところです」という意味になります。
- ・ 現在完了形の疑問文の最後に **yet** をつけると、「もう~し (終わっ) た?」となります。
- ・ 否定文の最後に **yet** をつけると、「まだ~し (終わっ) ていない」となります。

めあて to+動詞の原形を使って、理由をつけて気持ちを表そう

I am glad to hear that. それを聞いて私はうれしいです。

I am happy to meet you. あなたに会えて私はうれしいです。

- ・「to+動詞の原形」が、そういう気持ちになった「理由」を表しています。

have+過去分詞は「3年前から～しています」など過去から続くことを表す使い方も Unit3 で学びました。

to+動詞の原形は「～すること」「～するために」「～するための」の使い方を2年生で勉強しました。

never は **not** と似ていますが、「一度もない」と、強い否定を表しています。**ever** 自体の意味は日本語に訳しにくいのですが、経験について表現するときに使う言葉と考えると良いでしょう。



単 元	年 組 番	8問
3年 Unit 3 Fair Trade Chocolate	氏名	

1 英語で書いてみよう。

(1) あなたはフェアトレードについて聞いたことがありますか。

you heard of fair trade?

(2) 私はそのことについて一度も聞いたことはありません。

I have of it.

(3) あなたはオーストラリアに行ったことがありますか。

Have you to Australia?

2 英語で書いてみよう。

(1) 私はちょうど今この箱を調べたところです。

I have the boxes.

(2) あなたはもう宿題が終わっていますか。

Have you your homework ?

(3) いいえ、まだです。

No, not .

3 英語で書いてみよう。

(1) あなたに会えて私はうれしいです。

I am glad you.

(2) 私はそのニュースを聞いて悲しかった。

I was sad the news.

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8問
3年 Unit 3 Fair Trade Chocolate	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

(1) あなたは門司港を訪ねたことがありますか。(you / have / Mojiko / visited / ever / ?)

(2) 私はピアノを弾いたことはありません。(I / never / played / have / the piano / .)

(3) あなたはもうお昼ご飯を食べましたか。(you / eaten / yet / lunch / have / ?)

(4) 私は今自転車を手に入れたところです。(have / I / a bike / got / just.)

2 こんなとき英語ではどう言うか、書いてみよう。

(1) 彼を見てびっくりしたと伝えたいとき。

(2) もう自分の部屋の掃除が終わったか相手にたずねたいとき。

(3) 京都に行ったことがあるか相手にたずねたいとき。

3 宿題が終わっているかについて、AさんとBさんの対話を2文以上で作ってみましょう。

(例) 今日宿題ある? もう終わった?

単 元	年 組 番	/ 5 問
3 年 Multi Plus 2 修学旅行	氏名	

参考にしよう

☆ I'm going to talk about my school trip.

① We went to Kyoto on a school trip ② in June.

③ Kyoto is an old city with many traditional buildings.

④ My favorite was Kinkaku-ji. It was very beautiful.

⑤ I also enjoyed talking with my friends at night.

I'll never forget this trip.

中心になる文を書こう

① Where did you go on a school trip? (修学旅行でどこに行った?)

② When did you go there? (いつ行った?)

③ What kind of city is it? (どんなところ?)

④ What was your favorite place and why?
(一番好きなところはどこだった? どうして?)

⑤ What did you enjoy during the school trip? (何が楽しかった?)

単 元	年 組 番
3年 Unit 4 Learn by Losing	氏名

めあて 不定詞を使って「どう…するか」「何を…すべきか」を表そう

- I know how to get tickets.** わたしはチケットを手に入れる方法を知っています。
- ・「how+to+動詞の原形」で「どう～するか」, 「what+to+動詞の原形」で「何を～すべきか」という意味になります。
 - ・how to ～は, 「～のしかた」「～する方法」などとも訳されます。
 - ・where「どこで」, when「いつ」などの疑問詞も同じような使い方ができます。

めあて 不定詞を使って「(ⓐにとって)～するのは…です」を表そう

- It is difficult for me to explain sumo.** わたしにとって, すもうを説明することは難しい。
- ・「It is ... (for+ⓐ) to+動詞の原形」で, 「(ⓐにとって)～するのは…です。」という意味になります。
 - ・「It is (was)…」には, easy (簡単だ), important (重要だ), interesting (おもしろい), hard (大変だ)などの形容詞が入ります。

めあて 不定詞を使って「ⓐに…してほしい」を表そう

- I want you to check my homework.** わたしはあなたに宿題をチェックして欲しい。
- ・「want +ⓐ+to+動詞の原形」で, 「ⓐに…してほしい」という意味になります。
 - ・wantと同じように, 「ask +ⓐ+to+動詞の原形」で「ⓐに…するように頼む」「tell +ⓐ+to+動詞の原形」で「ⓐに…するように言う」となります。

めあて 行きたい場所への行き方をたずねよう

- Could you tell me how to get to Ueda?** 上田への行き方を教えてくださいませんか。
- ・ある場所への行き方をたずねるときは, 「tell me how to get to…」と言います。
 - ・ていねいに聞くときは「Could you …?」=「～していただけますか。」を文の最初につけます。



2年生のUnit 3や, 3年生のUnit 3で, 「to+動詞の原形(不定詞)」について学習しました。いろいろな使い方があるので, きちんと整理して覚えましょう。

文がどんどん長くなっていますね。語順やルールをしっかり覚えておくことが大切です。それぞれの文を1パターンずつ暗記し, 単語を入れ替えて応用していくというのも慣れるいい方法です。



単 元	年 組 番	8 問
3年 Unit 4 Learn by Losing	氏名	

1 英語で書いてみよう。

(1) 彼はインターネットの使い方を知りません。

He doesn't know use the Internet.

(2) そのとき私は何と言ったらいいかわかりませんでした。

I didn't know then.

2 英語で書いてみよう。

(1) トムにとって英語を話すことは簡単です。

It is Tom speak English.

(2) 私たちにとってコンピュータを使うことはおもしろいです。

is us use a computer.

3 英語で書いてみよう。

(1) 私はあなたにギターを弾いてほしい。

I want play the guitar.

(2) 子ども達は彼女にその本を読んでほしかった。

The children read the book.

(3) 田中先生は生徒たちに教室を掃除するように言った。

Mr. Tanaka his students the classroom.

4 英語で書いてみよう。

(1) 博多駅への行き方を教えていただけませんか。

you me to to Hakata Station?

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	9問
3年 Unit 4 Learn by Losing	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

(1) 彼はそのかばんをどこで買うか知っていました。

(buy / knew / the / he / to / where / bag / .)

(2) 彼らにとって英語の本を読むことはとても難しいです。

(to / for / English / very / books / them / it / difficult / is / read / .)

(3) 私の妹は私に歌を歌って欲しかった。

(song / sister / my / me / sing / wanted / to / a / .)

2 こんなとき英語ではどう言うか書いてみよう。

(1) リバーウォーク (River Walk) への行き方をたずねたいとき。

(2) 「どこに行ったらいいかわからない」と言うとき。

3 自分が得意なことや楽しいこと (easy, fun, interesting など) や苦手なこと (difficult, hard など) をそれぞれ2文ずつ書いてみよう。

チャレンジシート① 学ぶ

単 元	年 組 番
3年 Unit 5 Electronic Dictionaries	氏名

めあて 過去分詞を使って名詞を修飾し、「～された(る)…」を表そう。

This is a **food made** from cacao beans.

これはカカオ豆から**作られた食べ物**です。

- ・名詞の後に過去分詞を置くことで、「～された(る)…」という意味を表現できます。

めあて 動詞の ing 形を使って名詞を修飾し、「～している…」を表そう。

What is the largest **animal living** on land?

陸上に**住んでいる**一番大きい**動物**は何ですか。

- ・名詞の後に動詞の～ing 形を置くことで、「～している…」という意味を表すことができます。

めあて 間接疑問を使って表そう。

What is this? 「これは何ですか」

I don't know **what this is.** 「わたしは**これが何か**わかりません」

- ・「これは何」ということが文の一部として使われるとき、語順が「**疑問詞 + 主語 + 動詞**」と変わります。直接たずねているわけではないので、この表現を「**間接疑問**」と呼びます。

めあて 形容詞+to+動詞の原形を使って、「…するのが～」を表そう。

Electronic dictionaries are **easy to carry.** 「電子辞書は**持ち運ぶのに**楽です」

- ・「形容詞+to+動詞の原形」の形で、「…するのが～」という意味を表します。



過去分詞は受け身の文で、～ing は進行形の文でおなじみですよね。
言葉の意味は同じです。

過去分詞や～ing 形が修飾の言葉として、名詞の後ろにつきます。

しかし、1語のときは、a **printed dictionary** (印刷された辞書) のように前からさっと説明します。言葉が重なって豊かになるのを感じてください。



単 元	年 組 番	8 問
3 年 Unit 5 Electronic Dictionaries	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) チョコレートはカカオ豆から作られる食べ物です。

Chocolate a food from cacao beans.

- (2) 「坊っちゃん」は夏目漱石によって書かれた有名な本です。

Botchan is a famous by Soseki Natsume.

2 英語で書いてみよう。

- (1) 陸上に住んでいる一番大きい動物は象です。

The largest animal on land the elephant.

- (2) 木の下で本を読んでいる女の子は私の妹です。

The girl a book under the tree is my sister.

3 英語で書いてみよう。

- (1) どこに彼女が行ったのか私は分かりません。

I don't know she .

- (2) 彼はどうやってこれを作ったのかあなたは知っていますか。

Do you know he this?

4 英語で書いてみよう。

- (1) 電子辞書は軽くて、持ち歩くのが楽です。

Electronic dictionaries are light and carry.

- (2) このコンピューターは使いにくいです。

This computer is difficult .

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8 問
3 年 Unit 5 Electronic Dictionaries	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を書いてみよう。(文の始めは大文字で。)

(1) フランス語はカナダで話されていることばです。

(a language / spoken / is / in / French / Canada / .)

(2) テーブルの下で寝ているネコを見てください。

(the cat / the table / look / sleeping / under / at / .)

(3) 私はなぜ彼が忙しいのか知っています。 (why / busy / is / I / he / know / .)

(4) どこでこのケーキを買ったのか教えてください。

Please (where / this cake / bought / tell / you / me / .)

2 こんなとき英語ではどう言うか書いてみよう。

(1) 法隆寺は聖徳太子によって建てられた寺であると言うとき。

(2) 自分は今歌を歌っている歌手が好きだと言うとき。

(3) この手紙を誰が書いたか知っているかと尋ねるとき。

3 あなたが好きな食べ物や自分で作ることができる料理について書いてみよう。

(例) ~は多くの人に愛されている食べ物。私の父が作った~が一番おいしい。

単 元	年 組 番
3年 Unit 6 Break the Barrier	氏名

めあて 「…が～する(した)」という説明を表そう。

This is a book I bought in the United States. これはわたしがアメリカで買った本です。
 ・「…が～する(した)」という説明を名詞の後ろにつけることができます。

めあて 関係代名詞 who を使って表そう。

Becky is the student. ベッキーは生徒です。
 She comes from Canada. 彼女はカナダから来ています。
 Becky is the student who comes from Canada. ベッキーはカナダから来ている生徒です。

- ・「人」を表す名詞を説明するときは「who+動詞～」の形を使います。
- ・ここでは she (彼女は)の代わりに **who** を使います。この who を関係代名詞と言います。

めあて 関係代名詞 that (which) の使って表そう。

This is a movie. これは映画です。
 It makes people happy. それは人々を幸せにします。
 This is a movie that (which) makes people happy. これは人々を幸せにする映画です。

- ・「物」を表す名詞を説明するときは「that[which]+動詞～」の形を使います。
- ・ここでは it (それは)の代わりに, **that** か **which** を使います。この that (which)を「関係代名詞」と言います。

めあて 関係代名詞 that (which) を使って表そう。

This is the message. これはそのメッセージです。
 He left it for us. 彼はそれをわたしたちに残しました。
 This is the message that (which) he left for us. これは彼がわたしたちに残したメッセージです。

- ・「物」を表す名詞を説明するときは「that(which)+主語+動詞～」の形を使います。
- ・ここでは it (それを)の代わりに, **that** か **which** を使います。



関係代名詞を使うことで、名詞を詳しく説明できるようになります。

文の中のはたらきによって、関係代名詞は使い分けなくてはなりません。「(人)は」→who, 「(もの)は・を」→which (that) を上手に使って、表現の幅を広げましょう。



単 元	年 組 番	8 問
3 年 Unit 6 Break the Barrier	氏名	

1 英語で書いてみよう。

- (1) これは私がアメリカで買った本です。

This is a I in the United States.

- (2) これは私の父が沖縄で撮ってきた写真です。

This is a my father in Okinawa.

2 英語で書いてみよう。

- (1) 彼はメジャーリーグでプレーした野球選手でした。

He a baseball player in the Major Leagues.

- (2) マリー・キュリーは二つのノーベル賞を受賞した女性です。

Marie Curie was a received two Nobel Prizes.

3 英語で書いてみよう。

- (1) それは野球の歴史を変えた出来事でした。

It was an event baseball history.

- (2) これは人々を幸せにしてくれる映画です。

This is a people happy.

4 英語で書いてみよう。

- (1) ロビンソンが球場で見たプレーが彼らの心を動かしました。

The plays Robinsion on the field moved them.

- (2) これは彼がわたしたちに残したメッセージです。

This is the message for us.

チャレンジシート③ ジャンプ

学習日 年 月 日

単 元	年 組 番	8 問
3 年 Unit 6 Break the Barrier	氏名	

1 日本文に合うように語句を並べかえて英文を作ろう。(文の始めは大文字で。)

- (1) これは去年彼女が書いた手紙です。 (she / is / last year / a / wrote / this / letter / .)

- (2) ケイトはサッカーがとてもうまい女の子です。

(the girl / who / is / plays / Kate / soccer / very well / .)

- (3) ロビンソンは打てて、得点できて、盗塁ができる選手でした。

(hit / run / steal / a player / who / was / could / Robinson / and / , / , / .)

- (4) これはトムがよく聞くCDです。 (a CD / this / that / Tom / is / listens to / often / .)

2 こんなとき英語ではどういいますか。

- (1) (写真を見せながら)「この人はベッキーが大好きな歌手です。」と説明する。

- (2) 「ジャッキーはカナダではふつう女の子に使われる名前です。」と説明する。

- (3) 「これがティムが話していたチョコレートだ。」と。説明するとき。

3 あなたの好きな曲について紹介してみよう。

(例) 自分のお気に入りの曲を紹介し、「…はわたしを~にする曲です」と加える。

単 元	年 組 番	氏名	/ 4 問
3 年 Multi Plus 3 なりたい職業			

参考にしよう

☆I'm going to talk about my dream for the future.

① I want to be a singer.

② I have wanted to be a singer since I was a child.

Do you know the singer who sings "Friends Forever"?

It's Kirara. I like her very much. She sings and dances so well.

③ When I feel sad, I always listen to her songs. She cheers me up.

④ I want to be like Kirara.

中心になる文を書こう

① What do you want to be in the future? (将来何になりたい?)

② How long have you wanted to be a [なりたい職業]?

(いつからそう思っているの?)

③ Why do you want to be a [なりたい職業]? (どうしてになりたいの?)

④ What do you want to do when you became a [なりたい職業]?

(その職業に就いてしたいことは何?)

